



## 店頭選書に行ってきました

### 店頭選書とは？

図書館で購入する本を、直接本屋さんで選ぶイベント。

図書委員（活動係）の有志で、5月21日（火）にヤマニ書店ラトブ店さんにお邪魔してきました。購入した本は下記のとおりです。

貸出できるよう手続き完了後、展示を予定しています。

どれも図書委員が悩んで選んだ本なので、手にとってみてください。

- ◇ 『推しの殺人』
- ◇ 『怪物の木こり』
- ◇ 『人でなしの櫻』
- ◇ 『大常識』
- ◇ 『サイレントラブ』
- ◇ 『またうっかり、自分を後回しにするところだった』
- ◆ 『イラスト&図解 知識ゼロでも楽しく読める!物理のしくみ』
- ◇ 『英語の読み方 リスニング篇 話し言葉を聴きこなす』
- ◆ 『バスタブで暮らす』
- ◆ 『数学する身体』
- ◆ 『スラッシャー 廃園の殺人』
- ◆ 『人間関係ってどういう関係?』
- ◆ 『極楽征夷大將軍』
- ◇ 『永遠に生きる方法』
- ◆ 『碁盤斬り 柳田格之進異聞』
- ◇ 『弥勒の月』
- ◆ 『読書間奏文』
- ◇ 『三島屋変調百物語シリーズ①②』
- ◆ 『道鏡 悪僧と呼ばれた男の真実』



## 話題本【1週間で3つの文学賞を受賞!】

CHECK!!



### 『地雷グリコ』 青崎 有吾/著 KADOKAWA

謎解き重視のミステリが対象の「本格ミステリ大賞」

ミステリ界で最も権威のある「日本推理作家協会賞」

大衆（エンタメ）文学全般から選ばれる「山本周五郎賞」

日本の小説コーナー

913-A にあり



3つの文学賞を獲得したのは、文化祭の場所取りなどを賭け、高校生たちが頭脳戦を繰り広げるといふ、殺人事件も名探偵も登場しない頭脳戦小説だ。高校生たちが挑むのは、ジャンケンやだるまさんがころんだなど誰もが知るゲームだが、それぞれに絶妙な【ひねり】が加えられており、騙し騙され、目まぐるしく展開する頭脳戦の緊張感を支えている。

作者の青崎氏が「ギャンブル漫画を青春小説のフォーマットでやってみたかった。(後略)」と語ったコメントに、今作の面白さが表れている。

参照：野波健祐、「ひと」記事、朝日新聞 2024年5月18日・朝刊 3面

## 文化祭の古本市にご協力をお願いします

図書委員会では本年度の高月祭で開催予定の古本市に向けて、新書、単行本、文庫、マンガなどを集めています。ご家庭で不要になった本がある人は、古本市にご協力をお願いいたします。扱いが難しいので、問題集や雑誌類は対象外となります。

なお、売上は図書館での図書購入費に活用いたします。

不要な本がある場合は、クラスの図書委員に渡す、または図書館の司書までお声がけください。

たくさん本を持ってきてくれた人には、ちょっとしたお返しを準備しています。詳細は追ってお知らせします。



新着図書一覧は裏面→